



# トドリ通信

朝鮮高校無償化ネット愛知

6月17日 口頭弁論速報！

## ◆原告番号8番意見陳述要旨◆

朝鮮学校が高校無償化から除外されたと聞いたとき、悲しみや怒りより悔しさがこみ上げてきました。ビラ配りをしていくしゃくしゃにされたビラをみた時、国は国民に偏見を植え付けていると感じました。朝鮮学校にきたことがない人々は、朝鮮学校は「北朝鮮」と関係があるから危険な場所だといいます。

「百聞は一見にしかず」一度、学校にきて授業を見てください。朝鮮学校の良さは、人間的に大きく育ってくれることとフレンドリーで人を思いやる気持ちが強いことだと思います。あいさつなどの礼儀を先生たちの姿から学び、学生がペアをつくりお互いが助け合いながら勉強をし、日本学校からの転校生が来たときは委員会で議論を重ねクラスに馴染めるように工夫をし、クラスメイトの誕生日をみなが祝い、部活の成果はみなで喜びます。

朝鮮学校の良さは一度見にきたら必ず伝わるはずです。

朝鮮学校に通いたくても通えない友達を朝鮮学校の無償化除外はさらに痛めつけています。無償化除外は国が行っているいじめではないでしょうか。

私の親は朝鮮学校の先生をしていました。今まで憧れを抱げずにいたけれど、朝鮮学校で学ぶうちに自分よりも人のために働く親・先生の姿をみて私も朝鮮学校の先生になり、朝鮮学校を守りたい、守らなくてはという気持ちになりました。

「卒業してみなが一つの場所に集まることは難しいけれど、同じ方向を向いていれば必ず集まることができる」という先生の言葉を信じて、私は朝鮮学校、アイデンティティを教えてくれた先生、絆で結ばれた友達を守っています。

## ◆準備書面要旨◆

準備書面では、戦前に生まれた差別意識が戦後を経て現在までどのように維持され続けてきたかについて述べされました。

今日まで維持された差別意識は、在特会や歴史修正主義による植民地に対する肯定的な意識、在日朝鮮人への差別を突出させるとこになりました。

2001年には「新しい歴史教科書をつくる会」による歴史修正主義的な教科書が検定を通過し、現在政府は、日本の歴史教科書から「従軍慰安婦」の記述を消すために教科書検定の見直しを進めています。

植民地支配に対しては「強制連行の証拠はなかった」、「たくさんの経済的利益を与えた」と主張しています。また、80年代後半からおこったチヨゴリ切り裂き事件は自作自演だとも言っています。そして現在、差別の標的は拉致問題とは関係のない朝鮮学校の生徒に向けられ高校無償化除外へと発展しました。

在特会や一部の国民の差別的思考は、戦後・明治時代から続く排外主義、90年代に浮き彫りになった歴史修正主義によって作られたものだと述べました。

## 報告集会の中での斐明玉弁護士の呼びかけ

前回の口頭弁論から裁判官が変わりました。新しい裁判官は裁判に対する関心を気にしてなのか、意見陳述の間原告のことも画面に映っている写真のことも見ずにずっと傍聴席をみていました。どんな人がどんな思いでこの裁判を傍聴しているのかが気になっているのではないでしょうか。

傍聴席にも戦略が必要だと感じました。朝鮮人の年功序列な性格のせいか、年齢で座っている場所が大体きまっているような印象をうける傍聴席。そのため、一見同じ顔ぶれに見えるのでは。学校関係者、保護者、日本の方、学生など色とりどりの傍聴者がいるので、意識的な席替えをしてみましょう！また、一人一人裁判に対する思いを目にこめることで裁判官に傍聴席の思いを訴えましょう！

裁判支援チャリティーコンサート

パッピングほりぼのライブ

・日時：2014年7月25日(金)

18:00開場 18:30開演

・場所：名古屋YWCA 2階 多目的ホール

第8回 口頭弁論

・日時：2014年7月29日(火)14:00～

・場所：名古屋地方裁判所

\*傍聴抽選は、13:30に締切になります！

